



ロータス東海の ちいらしっこ通信



今月のちよこい話

たまには気休めや愚痴も

「このところ、中3の息子がイラついている。『修学旅行も行けないし運動会も中止だし、そのわりにテストはギチギチにあるし...。コロナのばか野郎!』とブツブツ独り言。私も、小中高の学校公演の仕事が激減した。子供たちをコロナから守るために仕方ないのかもしれないが、かわいそうなのである。」

そんななか、先日、昨年の予定が延期になった中学校公演に行ってきた。

今回もたぶん中止になるだろう、と半ば諦めていたのだが、いろいろ策を講じて無事開催となった。十分に換気した体育館に3年生のみ、1、2年生は教室のモニターで視聴する。はじめ硬かった生徒たちも次第に声を出して笑って来て、よかった。

次の質問コーナー。中3女子から「落語はどこで聴けますか? またすぐに生で聴いてみたいですよ!」と言われた。「寄席や落語会、いつでもやっていますから...」と言いつつ、緊急事態宣言の度に延期・中止を繰り返す現状に「あ、『いつでも』はやってないや」と思い直す。「コロナが落ち着いたらぜ



ひ来てくださいな」とは言ったものの「落ち着く」のは一体いつだ? 大人には「落ち着いたら」があるかもしれないが、中3が中3でいられるのは「今」だけ。「今」、落語が聴きたい彼女に「落ち着いたら」なんて無責任な言葉を吐かねばならないのはつらい。ブツブツ息子に「陰気な独り言はやめろ、気がめいる!」と言うと「独り言みたいな仕事してるくせに!」と言い返された。腹が立つて「うるさい! ウチはその『独り言』で食ってんだ!」と返すと「うーん、おつしやる通りですね」と息子。しばしにらみ合いの後、二人で笑い合う。気休めを言うより、たまには愚痴やいらだちを口から吐き出すのも良いのかも。一体いつ落ち着くんだよ、コロナのばか野郎!

(春風亭一之輔・産経新聞オピニオン面より)

ロータス祭りクラブ

白川郷ライトアップ



1995年に世界遺産に登録された合掌造り集落の「白川郷」。大小あわせて100棟あまりの合掌造りの建物があり、雪が降り積もる12月下旬から3月上旬までは、一面雪景色の「白川郷」を楽しむことができ、ライトアップが行われる日には、静かな銀世界に合掌造り集落が灯りで照らし出されます、まるでおとぎの国のような光景に目を奪われてしまいます。

白川郷は、日本の原風景ともいえる美しい景観です、この合掌造り集落が評価され、1976年に重要伝統的建造物群保存地区として選定され、さらに1995年には五箇山(富山県)と共に白川郷・五箇山の合掌造り集落として、ユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されました。

近年では、世界遺産に登録されたことで知名度が増し、また交通網の整備により国内外から毎年多くの観光客が訪れています。日本の原風景である農村文化・生活・暮らしを深く感じる事ができる「日本の故郷」のような場所です。

ロータスクラブはCO2削減に取り組んでいます

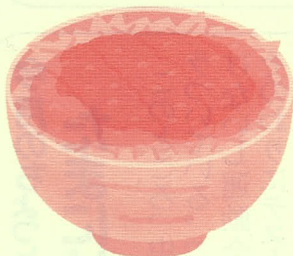


「頭の体操! 今月のなぞなぞ」 ①あなたのために作った曲ってなあに? ②昔話の主人公でいちばん成人病になりそうなのは? ③砂糖、ハチミツ、ジャム、この中で虫歯になりやすいのは? ④洗っても落ちないオシロイのする食器ってなあに? ⑤柔道や剣道をやっている人と食べたい果物って?

B級グルメ王

波の浸食によって削られた断崖絶壁は、自然が長い時間をかけて作った奇勝地で、国の天然記念物に指定されています。

そんな福井県のソウルフードといえば「ソースカツ丼」。「カツ丼」と注文すると、玉子とじのカツ丼ではなく、「ソースカツ丼」が出てくる方が一般的です。その他には越前市武生(たけふ)エリアのご当地グルメは「ボルガライス」さらに、福井県民がこよなく愛するグルメといえば、焼鳥！少し意外かも知れませんが、実は福井県は、県民1人当たりの焼鳥の消費量が全国トップクラスなのです。



日本の固有種たち

このクニマスの発見に一役買ったのが、さかなクンです。中坊教授がさかなクンに、生き生きとしたクニマスの姿を絵で再現するように依頼し、絵の参考にと近縁種のヒメマス西湖から取り寄せると、黒一色の魚が届きました。西湖では以前から、ヒメマスに似て体色が黒っぽい魚があり、「クロマス」と呼ばれていて、地元では「黒いヒメマス」と考えられていました。これが実は、クニマスだったのです。田沢湖で絶滅する5年ほど前、放流用にクニマスの卵が10万粒、西湖に運ばれた記録があり、このとき放流されたものが繁殖を繰り返して、命をつないできたとみられています。

魚類学者でもある当時の天皇陛下は、この年の誕生日の記者会見で、クニマスを「奇跡の魚」と表現され、中坊教授やさかなクンの功績に喜びの言葉を寄せられました。クニマスの発見、ドラマがありますよね。

懐かしい遊び

お手玉は遊ぶことだけでなく裁縫や正座などの行儀作法も一緒に学べるため、昔から女の子にとっても好まれました。

發祥は紀元前5世紀頃、現在のトルコに位置する場所に存在していたリディア人によつて發明されたと言われています。当時は羊のかかとの骨を使つてお手玉をしていたのだそうです。

諸説ありますが、日本には今から約1300年前の奈良時代に中国から伝わってきたとされていますが、飛鳥時代の聖徳太子もお手玉で遊んでいたとも言われています。

